



ベビーカレンダー
Baby Calendar

株式会社ベビーカレンダー
(東証グロース 7363)

2023年12月期 通期決算説明資料

2024年2月14日



A Sea of Smiling Women

「女性の笑顔でいっぱい」





ベビーカレンダー

メディア事業



ベビーカレンダー

ラクラク生理せいとん! 毎月快適!
ムーンカレンダー



woman calendar
オトナ女子によるオトナ女子のためのアンチエイジングサイト



シニア情報メディア
シニアカレンダー
SENIOR CALENDAR



矢 シッテク



ヨモニ



ゆるぶる



YouTube
チャンネル

医療法人向け事業



【ベビーパッドシリーズ】



【エコ動画館】



【おぎや写真館/動画館】



ホームページ・動画制作



かんたん診察予約システム

専門家監修のコンテンツ

コンテンツを生み出し続ける編集者・編集力

エンジニア、デザイナー、サポートの内製

1.2023年12月期 決算サマリー



2023年10月16日に期末見込みの修正を実施いたしました。

【見込み修正の主な要因】

- ・2023年12月期通期において当期成約したM&A案件による事業損益および費用を計上したことなどにより、営業利益及び経常利益が予想を下回りました。
- ・有価証券評価損18百万円を計上したことにより、当期純利益が予想を下回りました。

(百万円)

	2022年12月期 (参考)	2023年12月期 当初予算	2023年12月期 修正予算	増減額	増減率(%)
売上	1,084	1,257	1,200	△57	△4.5
営業利益	38	80	△35	△116	-
経常利益	36	79	△28	△108	-
税引前当期 純利益	36	79	△47	△126	-
当期純利益	21	51	△49	△100	-



2023年12月期通期業績は売上高**1,203百万円**（前期比**110%**）
経常利益**△26百万円**で着地いたしました。
（概ね、修正期末見込み通りの着地）

（百万円）

	2022年12月期 実績（参考）	構成比 （%）	2023年12月期 修正予算	2023年12月期 実績	構成比 （%）	修正 予算比 （%）	前期比 （%）
売上	1,084	100%	1,200	1,203	100%	100%	110%
営業利益	38	3.5%	△35	△31	-	112%	-
経常利益	36	3.3%	△28	△26	-	107%	-
税引前当期 純利益	36	3.3%	△47	△45	-	104%	-
当期純利益	21	1.9%	△49	△43	-	113%	-



2023年12月期は、期初に当初設定した期末見込みに対し、主に2つの要因により利益減となりました。

■利益減少の内訳

セグメント名	内容	利益 (百万円)
メディア事業	ページビュー連動広告の売上に対する利益 →月間のページビューが計画より下がり、比例して広告売上（ほぼ利益）が未達	△68
	成果報酬広告の売上に対する利益 →3月スタートの新広告メニューが計画未達	△24
合計		△92

■経常利益と税引き前利益との差

2022年7月にWANNA COMPANY LIMITED（以下「WANNA社」という。）と資本提携（WANNA社へ15%出資）した件について、2023年第2四半期に減損損失18百万円を特別損失に計上。



2023年12月期 通期決算サマリー メディア一覧 ベビーカレンダー

ビジョンである「女性の一生をサポートする」の実現に向け、2023年12月期はヨムーノやYouTubeチャンネル、ベビー系SNSなどサービスの拡充を行いました。2024年12月期よりベビーカレンダーメインから、女性の課題解決全般に広がります。

ベビーカレンダー



医師・専門家監修の
妊娠・出産・育児メディア。
アプリやSNSも運営。
2015年 自社にて運営開始



パートナーダイエットアプリ。
2022年 事業譲受にて運営開始

woman calendar

オトナ女子によるオトナ女子のためのアンチエイジングサイト

オトナ女子のための
アンチエイジングメディア。
2020年 自社にて運営開始



忙しくても「暮らしをもっと
楽しく賢く！」
2023年 事業譲受にて運営開始



生理・恋愛・美容 女性のリアルを毎日お届け♪

ムーンカレンダー

生理・恋愛・美容 女性たちの
リアルがわかるメディア。
2020年 自社にて運営開始



YouTubeチャンネル①
2022年 事業譲受にて運営開始



シニア情報メディア

シニアカレンダー

SENIOR CALENDAR

シニア情報メディア。
2019年 自社にて運営開始



YouTubeチャンネル②
2023年 事業譲受にて運営開始



恋愛・結婚&マッチング
アプリ紹介メディア。
2022年 事業譲受にて運営開始

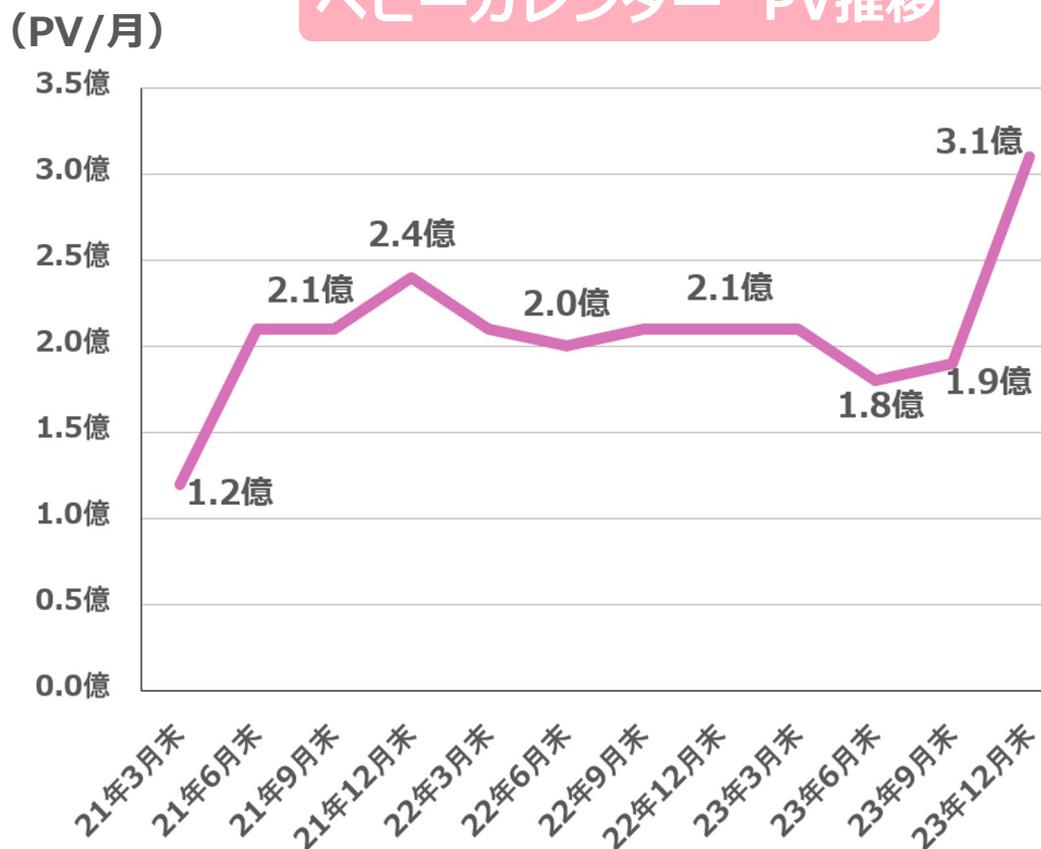


YouTubeチャンネル③
2023年事業譲受にて運営 開始



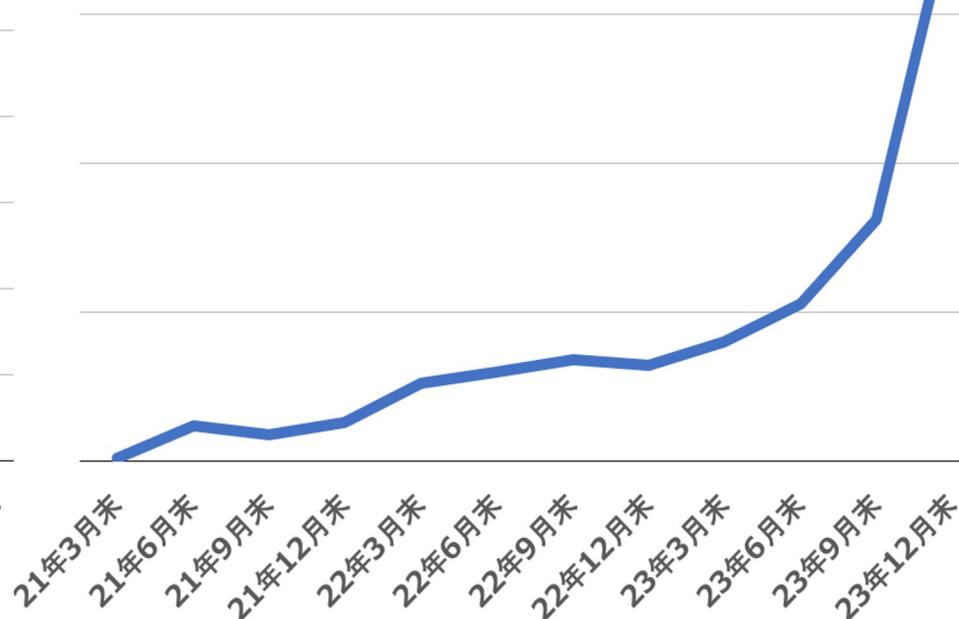
ベビーカレンダーは、記事本数の増加、ジャンルの拡大を行い、2023年12月は過去最高の3.1億PVを達成しました。その他のメディアは、ベビー系SNSの伸長、YouTubeチャンネルやヨムーノの事業譲受によりPV数が大幅にアップしました。

ベビーカレンダー PV推移



その他メディア PV推移

- ムーンカレンダー
- ウーマンカレンダー
- シニアカレンダー
- シツテク
- ゆるっぷる
- ヨムーノ
- ベビーカレンダーSNS
- YouTube3チャンネル



2.2024年12月期 業績見通し



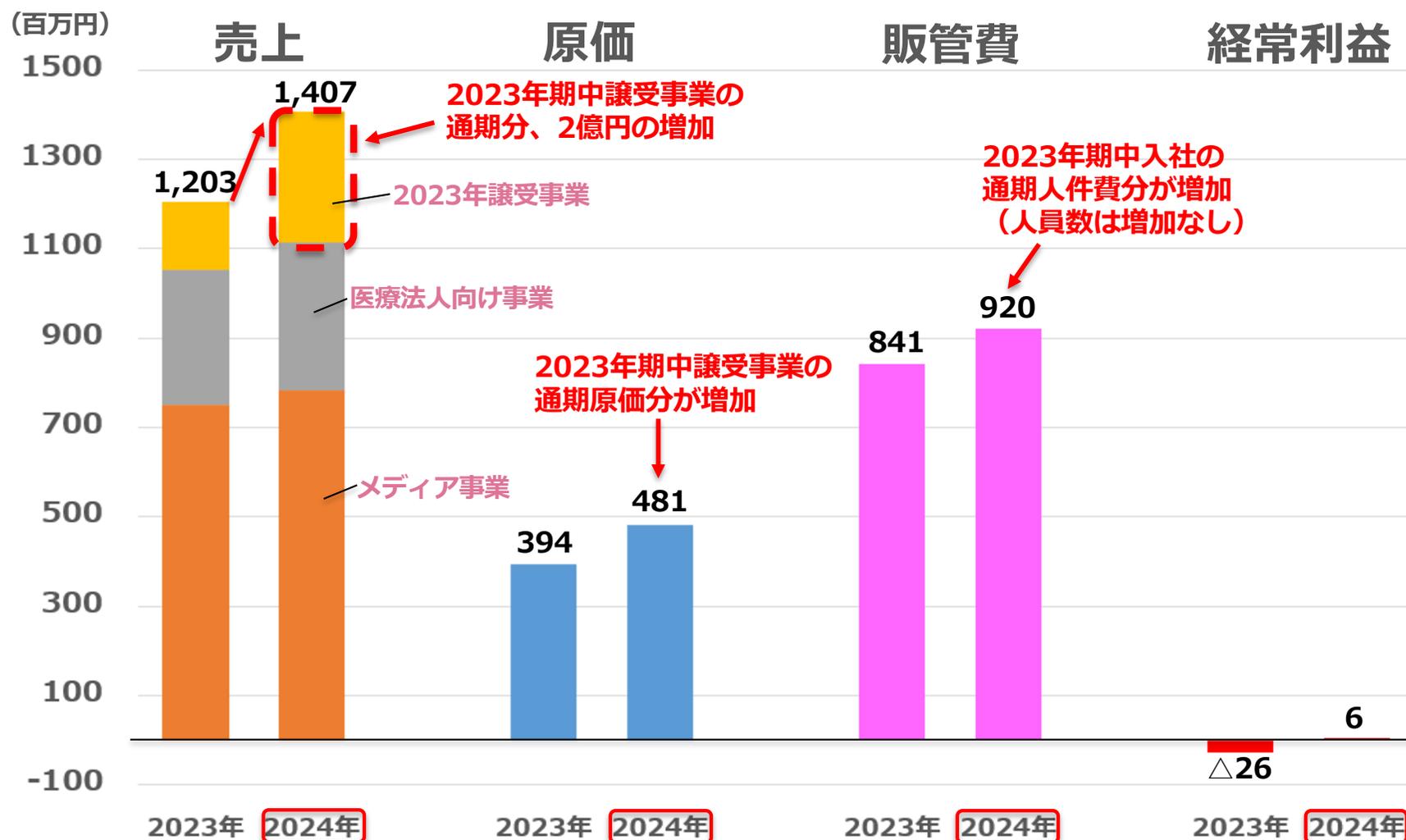
2024年12月期の計画は売上高1,407百万円（前期比116%）
経常利益6百万円の予定です。

(百万円)

	2023年 12月期	構成比 (%)	2024年 12月期	構成比 (%)	前期比 (%)
売上	1,203	100%	1,407	100%	116%
営業利益	△31	-	9	0.6%	-
経常利益	△26	-	6	0.4%	-
税引前当期 純利益	△45	-	6	0.4%	-
当期純利益	△43	-	3	0.2%	-



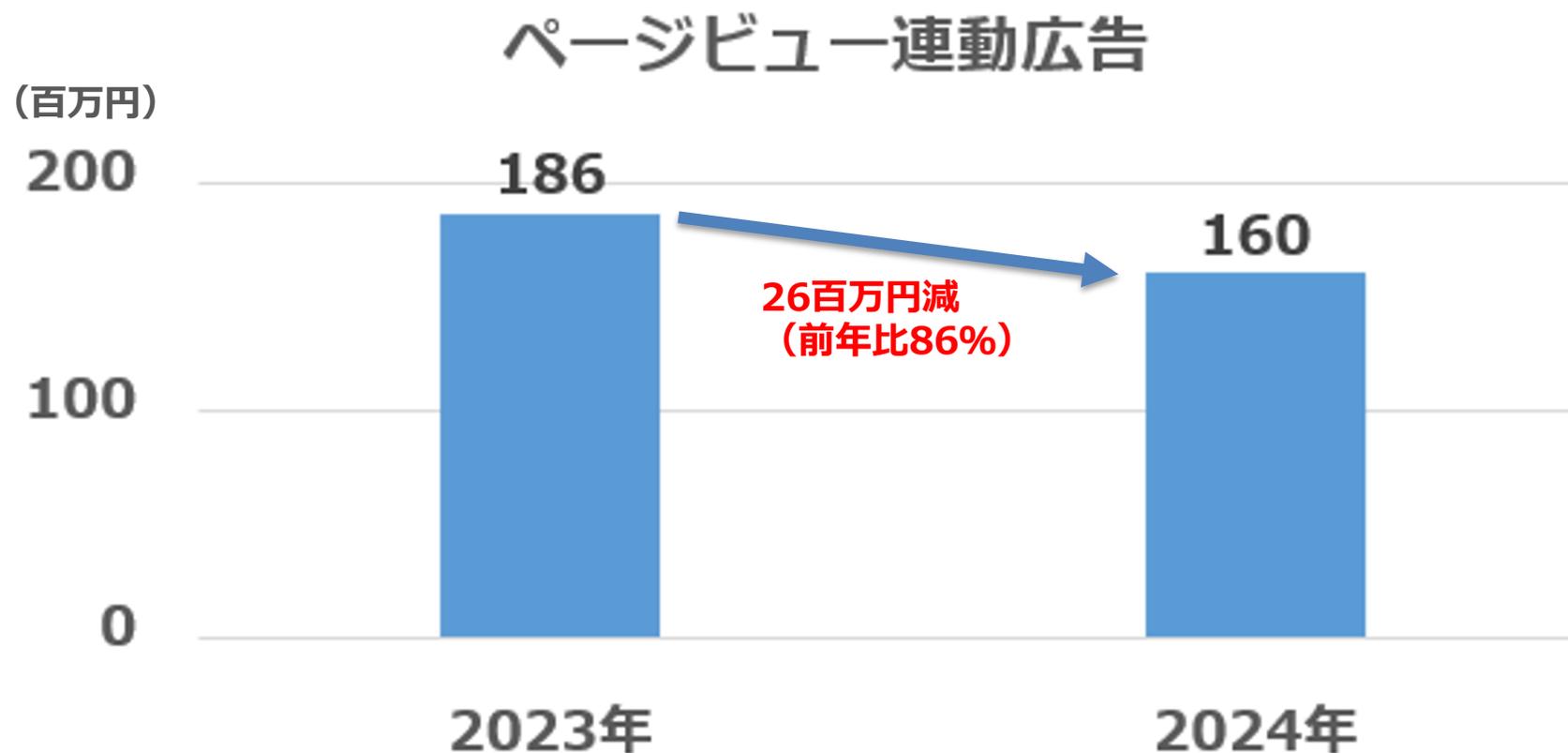
2024年12月期は、女性向けメディア拡大により増収を計画しております。主な増分は2023年期中に譲受した事業の通期業績を加算したものとなります。





■ 2023年の計画未達要因対策①（ページビュー連動広告の売上）

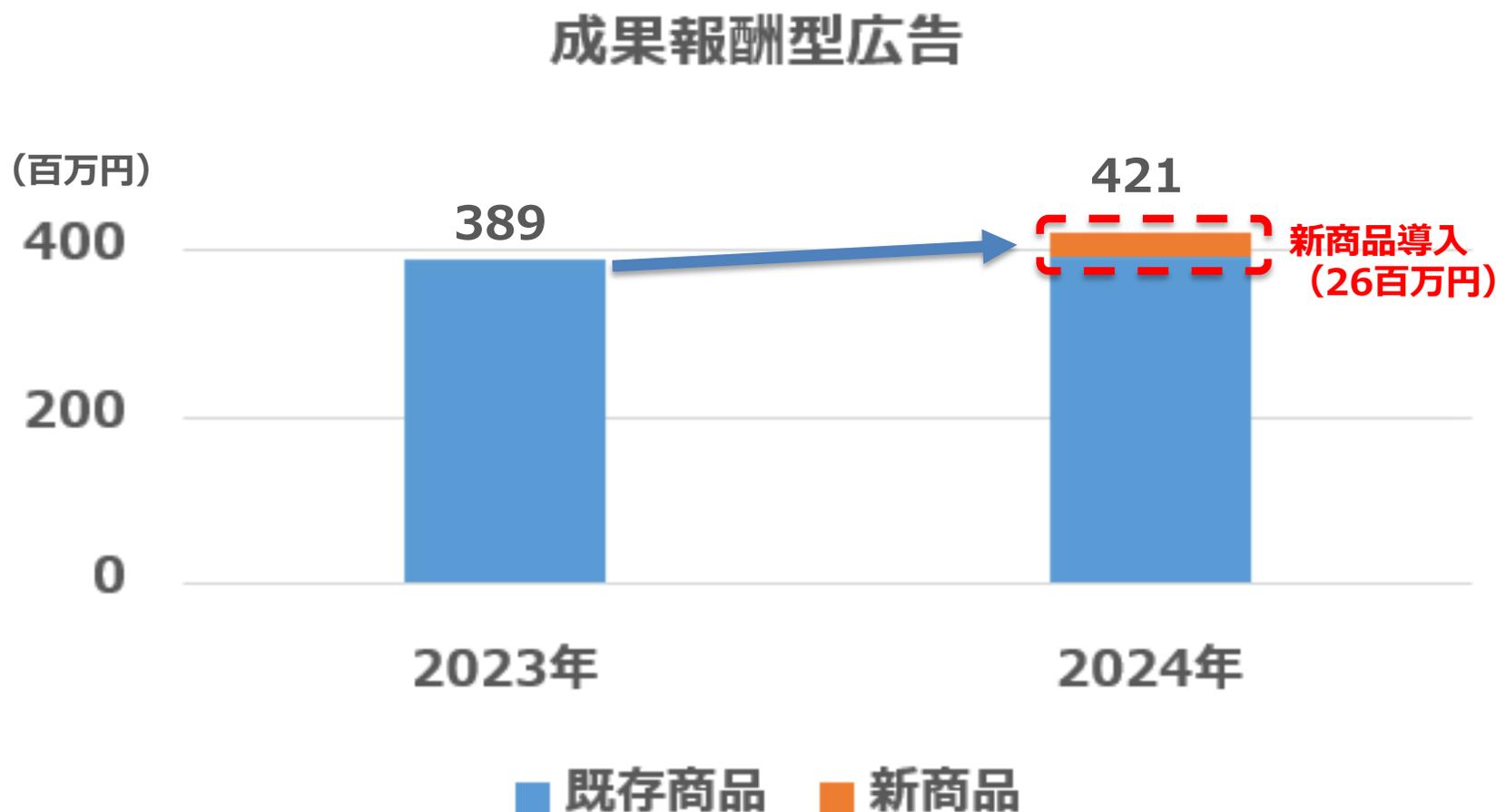
主カメディアである「ベビーカレンダー」のページビューは、2023年の反省を生かし、2023年の実績を元に対前年86%で計画しています。





■ 2023年の計画未達要因対策②（成果報酬型広告の売上）

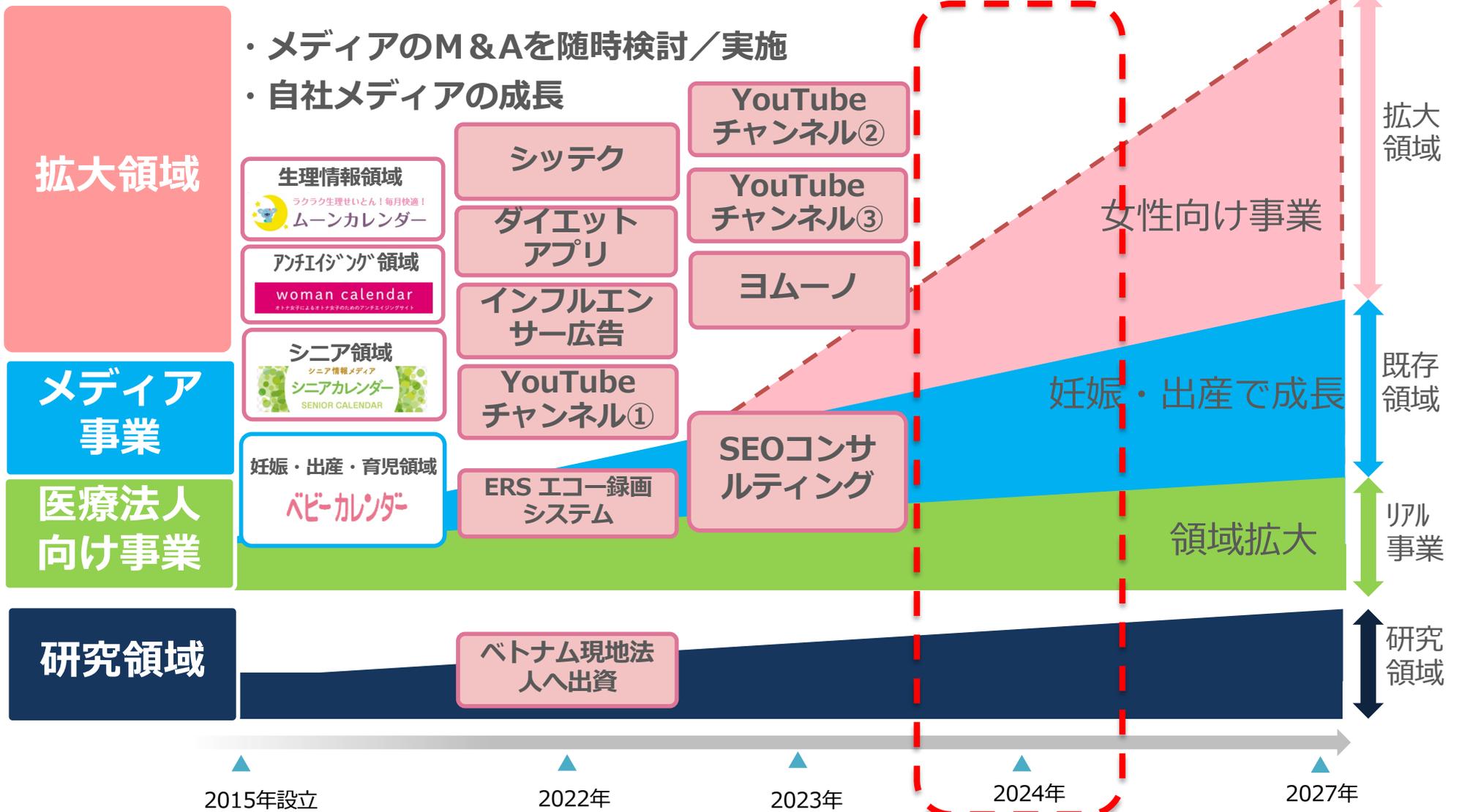
2023年は新商品（新広告メニュー）の販売が計画通りに進まず計画未達となりました。2024年は複数の新商品を計画していますが、予算では1つの新商品分の増のみで計画してます。



3.成長戦略



引き続きメディア事業の拡大をM&Aも含めて実行していきます。
 なお、M&A資金には融資、自己株式を積極的に活用していく予定です。



4.Appendix



会社概要	
会社名	株式会社ベビーカレンダー
所在地	本社：東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビルディング10F 三島開発センター：静岡県三島市大社町18-7 小林ビル2F 大阪支社：大阪府大阪市中央区西心斎橋1-5-5 8F
設立日	1991年4月
資本金	285,030千円（2023年12月現在）
事業内容	メディア事業 医療法人向け事業
執行体制	代表取締役 安田 啓司 取締役 福島 智晴 取締役 竹林 慶治 取締役 佐々木 和幸 社外取締役 高橋 静代 監査役 黒岩 大輔 社外監査役 峯尾 商衡 社外監査役 片山 智裕
従業員数	94名（2023年12月現在）

沿革	
1991年	経営コンサルティング業務を目的として、株式会社ロジスティクスコンサルティングを設立
1994年	日本テクト株式会社に商号変更
1996年	医療用液晶情報端末の開発・製造及びシステム開発を開始
2008年	産科施設向けベッドサイドシステムをパッケージ化した「MediPac mama」（現在のベビーパッドシリーズ）を発表し、産婦人科向け事業を開始
2015年	株式会社クックパッドベビーに商号変更 クックパッド株式会社から妊娠・出産サイト「クックパッドベビー（現ベビーカレンダー）」を譲り受け、メディア事業を開始
2017年	クックパッド株式会社から事業譲渡（MBO）を実施し、株式会社ベビーカレンダーに商号変更
2018年	本社を東京都渋谷区に移転
2020年	g aデザイン株式会社の株式を取得後、吸収合併し、大阪g aデザイン支社を設立（現：大阪支社）。
2021年	東証マザーズ（現：東証グロース）に上場
2022年	ダイエットアプリ「ゆるっぷる」、インフルエンサー事業「gramo」、マッチングアプリメディア「シッテク」を譲り受ける。また、ベトナムレシピ動画サイト「wanna」に一部出資。
2023年	株式会社メディア・ビーから「SEOコンサルティング」事業、株式会社しずおかオンライン（くふうカンパニーグループ）からWEBメディア「ヨムーノ」を譲り受ける。またYouTubeの2つチャンネルも譲り受ける。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。